



学校教育目標「ふるさとを愛し心豊かでたくましい西っ子の育成」

令和3年度 めざす学校像 自分の言葉でつながる西日登小学校

2学期が始まってひと月経ちました。学校は子どもたちの学びを止めないように、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、すべての教育活動で予防を徹底し、方法や内容を一部変更しながらでも、授業や学校行事に取り組んでいます。

学力向上の取組（読解力向上）



筆者の意図を読み取る要約学習。
大事なキーワードを見つけ、何が書かれていたのか図式にまとめます。



先月号でご紹介した烏田勝信様に再度お越しいただき、全学年が要約学習に取り組みました。これは、子どもたちの学力向上とかかわる大事な学習です。子どもたちは初めて出会ったテキスト（長文）を読解し、何が書かれていたのか考え、筆者の意図をキーワードを用いて図式化します。そして、図式を見ながら読解したことを相手に伝えます。このように、テキストを読む→図式に書く→プレゼンテーション（相手に話す）という流れで、読解力を向上させようとするものです。

しかも、短時間で図式化したり40秒で話したりする学習ですので、集中力も必要です。本校の子どもたちはとても集中して前向きに取り組んでいました。講師の先生からも「図式名人！」はじめ、おほめの言葉をたくさんもらい、自信となったとともに子どもたち一人一人の学習意欲を高めてもらいました。

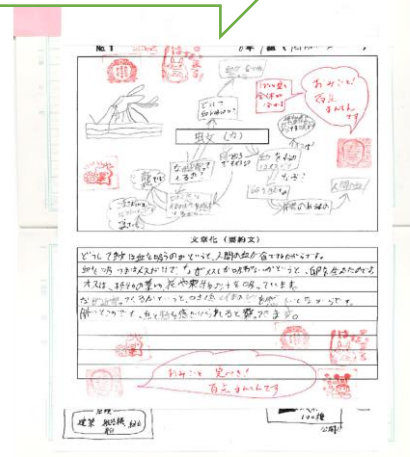
今後においては、他の教科学習にも発展させ、読解のツールとしての図式を大切にしていこうと思います。

例

蚊

テキストを読んで図式化する。

- 蚊はどのように人の血を吸うのでしょうか。？答えは簡単です。蚊の食べ物人間の血だからです。人間の血が食べ物とは、なんだか吸血鬼のようですが、そういう昆虫ですからしかたがありません。むしろ蚊が小さくてよかったと考えるべきかもしれません。
- ところで、血を吸うのはメスだけです。オスは植物の葉や花や果物などの汁を吸って生きています。メスの蚊は卵を産まなければなりません。そのため、人間の血のような栄養のあるものが必要なのです。
- 外に出ると、すぐに蚊が近寄ってきます。蚊は、人間の吐く息と体の熱を感じ取って襲ってきます。真っ暗なところでも、蚊はどこに人間がいるのかすぐに分かる能力を持っているのです。 【出典：烏田先生提供によるテキスト】



修学旅行の実施



修学旅行のねらい

- ① 今まで知らなかった島根のよさを見つけよう！
- ② 集団行動の決まりを守って、楽しい思い出をつくろう。
- ③ 自分や友だちのよさを再発見し、絆をいっそう深めよう！

本校は、複式学級を有するために隔年で修学旅行を行っています。今年度も新型コロナウイルス感染拡大状況が心配され、出発直前まで修学旅行の実施可否を心配しました。しかし、9月15日（水）16日（木）に島根県内修学旅行（1泊2日）に出かけることができ、安堵しました。旅行行程は、次の通りです。

- 1 日目 かなぎウエスタンライディングパーク→浜田市内ホテルで昼食→浜田市世界こども美術館→しまね海洋館アクアス→浜田市内ホテルで宿泊
- 2 日目 仁摩サンドミュージアム→松江市内ファーストフード店で昼食（個人注文）→松江城→松江歴史館→堀川遊覧船→帰校



—乗馬、えさやり体験、アクアスでのイルカショー見学はじめ、水中生物との出会い、子ども美術館での創作活動、松江城・歴史観見学、堀川遊覧船乗船等—楽しい思い出ができました。



広島での1日平和学習に向けて

子どもたちは、これまでに「永井隆記念館」見学をとおして、戦争の悲惨さや永井隆博士の生き方について学習しました。また「雲南市永井隆平和賞」作文に応募することで平和についての自分の考えを表現する活動を行ってきました。そうしたうえに、広島県に旅行し、平和公園や原爆資料館を実際に見学し、戦争の悲惨さを感じ、被爆体験者様から直接お話を伺うことで学びを深める予定でした。しかし、今年度は、そのような修学旅行を実施することはできませんでした。ですが、本校の立地条件ならびに保護者様のご理解を得て、日帰り（11/19）1日広島平和学習を実施します。

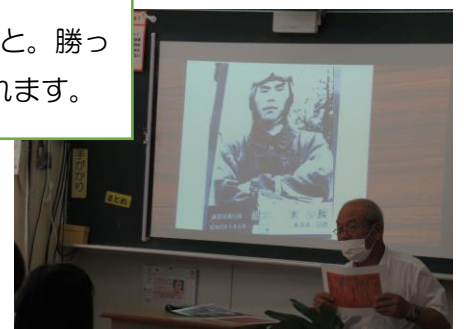
また、9月6日には、雲南市戦没者遺族会の小林茂様にお越しいただき、戦争で命を落とされた遺族の方の深い悲しみの思いやこれからの時代を生きる子どもたちに伝えたいことを力強くお話いただきました。ありがとうございました。

もう1周したいなあ。



戦地に行かれる方に「おめでとうございます」と言うことは、つらいことだなあ。

戦争は人と人が殺し合うこと。勝っても負けても犠牲者が生まれます。



交通安全集会の実施

「秋の全国交通安全運動」に合わせ、その初日である9月21日（火）に、交通安全集会を開きました。

「安全第一のだいちゃん」と雲南警察署の松林幸男様の腹話術をとおり、「信号機の色の意味や左右確認の大切さ、いかのおすし」等について学びました。

一瞬の判断ミスで起こる交通事故は、決して他人ごとではありません。余裕をもって左右の確認をし、子どもも大人も事故を起こさないように気をつけたいと改めて思いました。



右左を見て、渡るんだよ。

寺領小学校
低学年さんとの交流会

9月14日（火）に2年生は、寺領小学校低学年のお友だちと交流しました。学校近くの裏山での自然体験です。初めは緊張していましたが、だんだんと心がほぐれ、ともに活動する楽しさを味わいました。



西日登地区敬老祭へ向けて
西日登地域の高齢者の方々へ
長寿のお祝いの気持ちを届けよう。



ご長寿おめでとうございます。



今年は、だるまを折り紙で折りました。

「祝いの手打ち」よおー・・・
西日・最高・やっ！

私たちの歌声を聞いてください。



今年度も新型コロナウイルス感染症拡大状況を受け、一堂に会する「西日登地区敬老祭」の中止連絡を受けました。西日登小学校としましては、地域の方々に支えられてこそ学校経営が成り立っておりますし、地域全体で子どもたちの成長をお見守りいただいておりますことに感謝申し上げます。

そこで、子どもたちのアイデアも取り入れながら「長寿のお祝いメッセージ」として、折り紙をお届けしたり、歌や祝いの手打ちをページング放送で流したりしました。各ご家庭に届きましたでしょうか。

子どもたちがつくったものや子どもたちの声は、大人に元気を与えてくれます。喜んでいただけたら幸いです。

これからも、西日登地域の皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。



木次中校区一斉 「木次っ子あいさつウイーク」の取組

☆合言葉「木次をあいさつ日本一のまちに！」

～おはようがあられる木次に～

朝の挨拶は、気持ちよく1日をスタートさせる潤滑油のような力をもっています。挨拶週間中には、木次中学校生徒さんが昇降口に立ってくれたり、元気ふるまい委員会が校内を回ってあいさつの輪を広げてくれました。



また、登校班ごとにめあてをもって、気持ちのよい元気ある挨拶をめざして、子どもたちはがんばりました。



10月～12月の主な学校行事予定 (新型コロナウイルス感染症拡大状況により、変更になる場合があります。)

- 10月 5日(火) スクールカウンセラー来校(午後)
8日(金) 特別支援学級 音楽コンサート参加(ラ・メール)
14日(金) 雲南市陸上大会 5・6年生参加
13日(水)～15日(金) 夢発見ウィーク 木次中生2名来校
18日(月) 校内研修 ⑤時間目 5・6年生(算数科)
学習・生活がんばり週間(～24日)
19日(火) 学習公開日・PTA研修会(愛の共育講演会)・学校評議員会
21日(木) 全校遠足(松江市 フォーゲルパーク)
28日(木) チャレンジタイム

- 11月 6日(土) にしっ子発表会
8日(月) 振替休業日
9日(火) 校外学習 2年生生活科 トロッコ列車乗車体験
12日(金) 講師：小田川美由紀様を迎えてのお話会(全学年)
15日(月) ダンス学習開始 計3回 (全学年)
19日(金) 広島日帰り研修(5・6年生 平和学習)
24日(水) 寺領小1・2年生との交流 2年生(生活科)
25日(木) 体力向上に係る授業公開 5・6年生 市内各小学校から職員参加予定
30日(火) 令和4年度新入生就学時健診



- 12月 1日(水) 個人面談(～3日)
2日(木) 全校ダンス発表会
8日(水) 島根県学力調査 5・6年 (国語、算数、意識調査)
23日(木) 2学期給食最終日
24日(金) 2学期終業式 11:40頃下校



学校だより「くすのき」の配付方法についてのお願いです。

最後になりましたが、これまで本学校だよりの配付につきまして、自治会長様や本校自治会委(保護者)様をはじめとして、皆様方にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、これまでは、古封筒を活用してその中に学校だよりを入れ、古封筒は回収し、再利用させていただきました。しかし、この方法は、お世話になる方々のお手を煩わせることにもつながります。そこで、10月号より次のように配付方法を変更したいと思いますので、ご理解とご協力を重ねてよろしく願いいたします。



○自治会長様宛の場合 自治会軒数分の学校だよりを「古封筒でつくる紙帯」で束ねてお渡しすることに変更いたします。配付後は、紙帯を処分してもらってかまいません。

○本校自治会委員(保護者)様 これまで通りの封筒を活用し、紙帯で束ねた学校だよりをお渡します。自治会へ配付後に、紙帯は処分してもらってかまいません。封筒は、お手数ですが学校までお返しく下さい。